

金融構造の国際比較

藤原 洋二 教授

1) 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

「グローバル・スタンダード」が喧伝されつつある中で、現在でもなお各国の金融構造にはかなりの違いが観察されています。担当者はその要因を歴史的な経緯あるいは文化的相違にあるのではないかと考え、日本・アメリカ・イギリス・フランスなどを対象にした研究を行っています。これまでの成果としては欧州通貨統合を巡る軋轢に関する研究、日本の戦前の零細銀行の事例研究などがあります。この二つは、一見かけ離れたテーマのように見えますが、両者は上記の問題意識に基づくならば物事の本質を明らかにするための通奏低音を奏でていると判断しています。

2) 指導方針

博士号取得を目指します。専門文献(日本語・英語・フランス語)の味読、資料の収集とその分析手法の確立、論文作成とその発表能力の完成など、地道な作業を進める中で力を確実なものにしていって欲しい。担当者の能力では手に余る領域でない限り、研究テーマは参加者各位で自由に選んで下さい。

3) 学生に対する要望・その他

当然のことではあるが、大学院に在籍するということは、生活の大半を研究に没頭するという姿勢が不可欠です。更にこの研究指導では外国語文献を大量に使用しますので、応募に関してはその点を留意頂きたい。